

## 第1次公募 申請団体一覧

| 2022年度通 |                         | 多世代が食でつながるコミュニティづくり |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------|-------------------------|---------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 資金分配団   |                         | 一般社団法人全国食支援活動協力会    |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| No      | 申請団体名                   | 本拠地                 | 事業名称                                                            | 事業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 1       | 一般社団法人UMEプロジェクト         | 広島県尾道市              | 多世代を食でつなごうコミュニティネットワーク事業<br>～食でつながる団体同士が互いの活動を理解し合う連携を生むプロジェクト～ | 応募団体のこれまでの活動を進化させ、地域食堂の活動を地域の特色ある学びや活性化イベント等と接続することで、食支援の場に地域住民と関係人口を呼び込み新たな価値を創造するノウハウを他地域にも応用可能なプログラムとして開発し、備後圏域での地域共生社旗における食支援モデルを構築する。<br>①子ども食堂や多世代が参加する地域食堂の普及を促進する。また、運営サポートならびに人材育成などを軸に、子ども食堂の関係者および支援者が円滑に活動できるよう、サポート体制を充実させる。<br>②課題の分析や解決に向けた計画づくり、改善事例の紹介や市内外への情報発信を行う。<br>③共食の機会を提供する居場所活動を行う。共食は、食育において重要な役割を果たすとともに、多世代で活動することで高齢者の「生きがい・やりがい」の醸成、若い世代の育児サポート、孤食の解消、地域における青少年健全育成活動の推進に寄与することが期待できる。そのため、起業や行政・社協など多様な関係者と継続的な対話・連携を行い、多くの支援者・機関を巻き込んだ協議体を作りネットワークを構築していく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 2       | 一般社団法人コミュニティシンクタンク北九州   | 福岡県北九州              | 北九州市及び周辺地域における食を通じた地域                                           | これまで北九州市や周辺地域の子ども食堂を通じた寄付食材の流通ノウハウを活かし対象範囲を多世代に広げるとともに、北九州市社会福祉協議会や校区まちづくり協議会、校（地）区社会福祉協議会など連携し食を通じた多世代の居場所づくりをおこなうとともに各種研修や講座などを実施することにより地域の様々な人が集い住民同士が顔の見える関係づくりをおこなう。新たな多世代の居場所づくりをきっかけに校区まちづくり協議会の既存役員や関心のある住民、地域に関わる各種コーディネーターや専門家などを巻き込み生活支援や社会課題、地域固有の課題に取り組む体制づくりや人材発掘及び育成（地域内で地域をコーディネートできる人材づくり）をおこなう。（地域内における孤独・孤立対策、住民が安心して生活できるための地域住民が主体となるセーフティネットづくり等）<br>対象地域は、北九州市内では子ども食堂や高齢者へのふれあい昼食交流会やサロン活動を実施しており、地域活動が活発な校区（各区分ごとにこの10年間で地域活動を積極的に推進した地域など北九州市社会福祉協議会と協議し選定）であり食に関係する団体同士の関係が良好な校区をモデルとして選定し事業を実施する。また、それらを統括する団体とも協議・連携を図り、市や区での視点、校区での視点、それぞれから課題に取り組む。<br>北九州市周辺地域では、子ども食堂を実施しており社会福祉協議会などと連携できる団体や地域自治組織をモデルとして選定する。北九州市周辺地域においては主に中山間地モデルを構築する。<br>本事業によるモデルを体制の整った地域から横展開し、北九州市全体及び北九州市周辺他地域に広げていき食を通じた地域コミュニティづくりを目指す。                                                                  |
| 3       | 特定非営利活動法人ワークーズコレクティブういず | 千葉県柏市               | 食でつながる支え合いのすけあう街づくり<br>～人を繋げ、資源を繋げて、誰もがいきいきと働ける場・活躍できる場をつくる～    | 食のある居場所が様々な団体との連携・協働で持続可能な活動となるよう、全国の成功例の情報開示やノウハウの収集・伝播、ネットワークの形成を通じて協働の機運を高揚し機会を創出する。居場所には、他者との繋がりの中で安らぎや楽しみを見出し、孤立を予防する効果があり、何らかのサインの気づきで生活支援に繋がることもある。居場所に食の機能を持たせ、食の力で人と人を繋いで、コロナ禍で格差や孤立が生じている社会を、共に支え合う共生社会への転換を図る。実践団体の見学訪問、アンケート調査などで運営の課題を拾い、分析して冊子の発行や事例報告会・学習会等を開催する。冊子や収集データはHPでも閲覧可能にし全国へ発信していく。併行して、地域協働のモデル事業に取り組む。複数の食のある居場所とサプライチェーンやセントラルキッチンを備えた調理加工システムを共有し、コストの削減と効率化を図り、各居場所を拠点に単身高齢者やひとり親家庭に食品が届ける取り組みを展開する。これにより食事の偏りや低栄養による、免疫力の低下や認知症のリスクを軽減し、孤立の防止にも役立てていく。地域包括や高齢者福祉事業所、企業などと地域資源の循環を模索し、地域全体で誰も取り残さない支え合う街づくりに寄与する。食品の回収、洗いや加工、調理や居場所での配膳等の手伝い、高齢者宅への配達など、それぞれの活動で住民参加の仕組み、働く機会を創出しエンパワメントを引き出し主体的な自立した活動になるようにコーディネートして人材を育成する。実施団体の食支援活動が、多様な機関との連携や協働で促進されていくように、専門家を複数アドバイザーに置き関係機関との協議の場や相談室を設置して検証を行う。実施団体、関係機関と情報を共有し学びながら、行政へのパイプ役としても役割を担いながら持続可能な共生型社会と協働の街づくりを推進できるよう組織の基盤を整える。 |
| 4       | 一般社団法人いなかバィブ            | 高知県高岡郡              | 「いなか」の食と産業と福祉をつなごう！<br>～多世代・他地域と「食」でつながる“つなぎ隊”コミュニティづくりプロジェクト～  | 本事業は、「いなか」と呼ばれる農山漁村における社会課題である「地域活力の低下」「伝統的な生活・文化の継承危機」「経済面・生活面での不安」を解決するため、高知・四万十川中流域の中山間地域、四万十町十和田地区を中心とした半径30km圏内をモデルとして取り組みを行う。<br>中間支援機関が成り立ちにくい「いなか」において、中間支援機関が核となって多世代・他地域の地域住民や各セクターの関係機関が連携するプラットフォームやコミュニティをつくり、持続可能な経済活動を再構築することで、「いなか」の食・産業・福祉を「残したい」「受け継ぎたい」という想いを実現し、「いなか」の食と産業と福祉が受け継がれる、持続可能な中山間地域のモデルをつくることを目指す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 5       | NPO法人Joyステーション          | 鹿児島県霧島              | NPO法人Joyステーション<br>～外国人を含む多世代・多様性社会の人々のための居場所づくり～                | 3年間を「外国」を含む多世代・多様性社会の人々のための居場所づくり」として古民家を賃貸してプロジェクトを実施します。<br>①ウクライナ避難民、②ミャンマー避難民、③地域の子ども食堂、④霧島市の児童クラブ、⑤霧島市の老人クラブの方が1に参加いただきます。特に、コミニケーションで大事なのが共に食事をすることは古今東西同じで、老若男女に共通する接点です。<br>霧島市の公民館で食事指導をしている「霧島市食指導協会」の方々に参加いただき、地域の子ども達や老人会の方々と一緒にウクライナ料理やミャンマー料理を教えていただきながら、ウクライナとミャンマーの文化を学び共に食事をします。<br>第一段階は、半年間はウクライナ料理とミャンマーの料理を彼らがお世話になっている方々へのお礼として差く上げる期間とします。第二段階は、専門家と相談して商品として販売でき、収益をウクライナ避難民とミャンマーの避難民の支援金とします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 6       | 一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき     | 長崎県長崎市              | 地域共生力で地域の課題を解決する「つなぐBANK」居場所・ネットワーク事業<br>～市町の課題に合わせた「入口」を作る～    | 長崎県内の子どもの貧困は10人に1人である。少子高齢化が県としての大きな課題のひとつであり、高齢化率も高く50%を超えている地域が多い。特にひとり親家庭はコロナウイルス感染拡大が収束しないなか、パートを掛け持ちしていた家庭は仕事を無くしている現状である。また、高齢者・独居老人も様々な行政支援を受けているが、コロナウイルスで行政の専門員が訪問を控えているため、生活の変化に行政側が気づいてないケースも多く見受けられる。行政の施策では、子どもと高齢者と分けて考えられ、両方の問題は共通するところが多い。ただ、共通する問題があっても、高齢者だから高齢者の窓口へ、ひとり親の問題だから子ども関係の窓口へと同じ問題であっても窓口が別になり問題の解決も進まない事がある。この状況を「食」をツールとした居場所を県内に作ることで行政が支援できない「食料の現物支援」を行い、また、市町にある様々な相談機関の窓口がわかりやすいことから「助けて」を言えない人がいるため、市町の現状に合わせた総合支援的な「入口つなぐBANK」の居場所を設ける。また、行政の支援が届かない狭間の児童から高齢者までの支援を「行政がすること」と感じている住民に対して「地域の課題は地域で解決できる」を合言葉に地域資源の「食ロス」等を使った住民参加型支援説明会等を実施し、その市町に行政・社協・企業・住民が作る地域共生型の総合的な居場所つなぐBANKを作る。また、この居場所つなぐBANKを作ることで、県内の様々な相談等に対応できる医療・弁護士・専門家のネットワークがある本会が各地域で解決できない課題を専門チームで対応する。この居場所が県内に数か所できる事で、行政・社協・企業・専門家の市町のつなぐBANKを県域のネットワークでつなげ、本当に動けるネットワークが作られひとりもとよりこばさない支援が連携してできる状態になる   |

|    |                        |        |                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----|------------------------|--------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7  | 特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク   | 沖縄県那覇市 | 沖縄県における多世代が食でつながるコミュニティ                                     | <p>対象者別制度や枠組みに囚われない食に関する居場所の共助モデルとして、市営住宅内店舗等に地域食堂・子ども食堂や学習支援施設及び多世代の居場所を自治会、老人クラブ、ふれあいサロン、市民ボランティア団体、高校生ボランティア団体、留学生ボランティア団体等及び社会福祉協議会、地元商店会、生協、企業の協力の下、私共NPO法人にて運営し、参加支援のプログラム開発や各ボランティア団体の食支援の居場所を創出する。</p> <p>所謂、市営住宅及び周辺に居住する経済的に困窮する高齢者、失業者、留学生による複数名にて食事等を作り、また、血流いや後片付けをし、困窮する家庭の子どもも含む皆が食堂にて無料で食事を摂り集うことで個々の問題の相談、地域の問題の相談が出来る場所とし、地域で子どもを見守るシステムを構築する。この拠点を基に成した政策提言委員会を設置し、自治体への政策提言を目指す。</p> <p>また、市民活動支援センターやボランティア協議会を軸とした各ボランティア団体、各地域自治会、老人クラブ連合会、婦人連合会、各地域のふれあいサロン等の団体、各地域社会福祉協議会、民生委員・地域見守り支援員、ファミリーサポートセンター及び地元商店会、企業、ロータリー、農協、漁協、生協、私共NPO法人の協働による「多世代型の地域食堂・子ども食堂とする食支援ネットワーク」を構築・運営し、面として社会的弱者を主とした多様な人への包摂的社会的持続可能な仕組みを目指す。コミュニティとしての食の居場所の価値を概念化し社会の理解を広げると共に、食支援を行う沖縄県内各団体への伴走支援と共に地域における共助モデル構築のノウハウを全県へ伝播し社会的環境整備を担い、住民主体の共助モデルとし、事業期間中の目標として沖縄県内6市町村以上に構築する。（対象地域：那覇市、浦添市、宜野湾市、沖縄市、南城市、八重瀬町）</p>                                                                                                                                                                                     |
| 8  | 特定非営利活動法人いなか           | 福岡県福岡市 | 多機能型地域食堂を支点に広げる居場所支援コミュニティ                                  | <p>弊法人で実施している多機能型子ども食堂の知見を応用し、子どもから高齢者まで利用対象に含めた地域住民向けの地域食堂活動を行う。暮らしの基礎を支える食の支援提供を切り口に、居場所に求められる諸機能の提供・運営に取り組み。居場所づくり環境整備のためコーディネーターを配置し、関係機関、地域キーマンらと連携し支援コミュニティを構築する。</p> <p>1年目は、弊法人が中心となり「多機能型地域食堂」のセンター機能となる運営拠点の設置場所調査、設置、運営（週4日程度を目安）を行う。この食堂では、バントリー／会食型いずれかでの食事提供、同時に、子ども向け居場所機能としてオンライン学習支援機能の提供を行う。</p> <p>大人・高齢者に向けては食事提供を行うとともに、高齢者の話し相手やレクリエーションなどいわゆるデイスービスの機能の企画・提供を行う。</p> <p>合わせてコーディネーターを設置し、地域行政、福祉施設に向けて情報共有を行い、2年目の新規拠点設置・運営主体となるよう参画に向けた調整を行う。外部助成金等の申請サポートも行う、また日々の居場所運営の為ボランティア募集プラットフォームを設置し地域住民の参画ルートを設ける。コーディネーターを通じ居場所実例の紹介を行いつつ、重要性、地域の参画獲得を行う。</p> <p>2年目は、1年目に設置した弊法人運営のセンター機能拠点を運営しつつ、地域の福祉施設運営にて多機能型地域食堂を2〜3か所開設する。居場所が周辺に広く認知され、日常的に利用されている状況を作る。また、地域団体あるいはボランティアを育成し、翌年の居場所運営ができる能力形成を目指す。同時に行政への働きかけを通じ、拠点運営費用の制度化を働きかける。</p> <p>3年目は、行政予算や委託、寄付等の財源により、地域での自立運営ができる環境構築を目指す。</p>                                                                                                                                                                                         |
| 9  | 一般社団法人umau             | 福岡県久留米 | 食が結び合う暮らし「3分の1マーケット」プロジェクト<br>〜子ども食堂と共にすすむ地域連携プラットフォーム構築事業〜 | <p>子ども食堂を中心とする様々な地域の居場所をつくっている拠点を企画に、「サンブノイチ・マーケット」を展開し、地域連携体制を構築する事業。</p> <p>▶サンブノイチとは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3分の1減る（家庭の食費の軽減／企業の食品ロスの減少など）</li> <li>・3分の1増す（安心できる居場所／地域との繋がりなど）</li> <li>・3分の1ずつを合わせる（地域や企業や住民や行政など、少しずつ力を出し合わせることで、地域の循環を生む）</li> </ul> <p>▶サンブノイチマーケットとは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「組み立て式屋台」を子ども食堂に展開し「食品企業の廃棄食材」の配布。移動式子ども食堂としてキッチンカーの活用。</li> <li>・古着屋やハギレを活用して作成できる「ファブリックロープ」（名：ReRibbonーリリボンー）で、食材の交換の基準をつくり、支援する側される側としてではなく、みんなで作り合い、分け合っていく仕組み。</li> <li>・各子ども食堂から集まる、リリボンを販売し（計画はふるさと納税の商品として）その売り上げを、書く子ども食堂に分け合う循環。</li> </ul> <p>▶3つのアプローチ組織</p> <p>①子ども（親子・地域等）食堂…福岡県久留米市で活動している食堂は13軒。マーケットを設置し、新たな食堂や居場所の展開への拡大も行っていく。</p> <p>②食品系企業…食材や食品を製造販売する企業や個人へ廃棄食材の提供を交渉。子ども食堂の応援団になっていただく。</p> <p>③行政や福祉施設等…支援対象者をもつ機関へのアプローチ。共にリリボンを作成し食材をもらいに食堂へ行く、地域とつなげる対象者へのおこえかけのツールとしても活用していただく。</p> <p>地域の方々の志高く実施されている子ども食堂には課題が存在する。各子ども食堂の形は変えずに、課題の解決・解消を目的とした棟事業を導入し、横のつながりを生み、新たな地域福祉の価値観をつくり、子ども食堂が久留米の町に増え住民の方々の笑顔をつくり、安心して暮らせる町を目指していく</p> |
| 10 | 特定非営利活動法人場とつながりの研究センター | 兵庫県三田市 | 食支援「園域内自給自足」体制構築事業<br>〜食の困りごとを孤立につなげない、安心して頼ることができる地域づくり〜   | <p>農家や市民農園が多く、食材を取り扱う事業所やCSR活動に関心ある事業所が増えつつある園域特性を活かし、管理期限後食材や過剰生産野菜、個人宅や寺社仏閣等での余剰食材・お菓子類等を回収し、子ども食堂に届ける園域内循環のしくみづくりに取り組む。</p> <p>そのために、①食材倉庫の新拠点を整備し（趣旨と意思を理解下さった三田食糧(株)精米工場跡地(三田市三田町53)をお借りする段取りができた）、②子ども食堂や居場所、民生委員などの支援者を通じた食材提供（間接支援）と各居場所や地縁団体組織が行う食糧配布企画の後方支援を行い、③行政や地域企業の協力的体制づくりのためのアウトリーチを含む、園域の支援者のネットワークづくり、に取り組むことで、園域の困窮状態にある子ども・若者、その家族に「生きた」ための食材を安定供給できる環境づくりに取り組む。また、④フードバンク関西と連携し、より大規模な食材提供の受け皿となる「ハブ」となる園域拠点となる体制を構築することに加え、中間支援団体としての強みを活かし「地域資源のハブ」となることを目指すことを通し、子ども食堂等による支援力強化と園域事業所や市民への啓発を行う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 11 | 公益財団法人あしたの日本を創る協会      | 東京都文京区 | 食を通じた子どもの居場所づくり                                             | <p>「食を通じた子どもの居場所づくり」に取り組む地域活動団体からの助成申請を、年間を通して受付、年間総額570万円の助成を想定し、実施します。</p> <p>具体的助成内容としては、子ども食堂（助成額：5万円上限）、子ども宅食（助成額：5万円上限）、フードドライブ（助成額：3万円上限）、フードバントリー（助成額：3万円上限）、学習支援（助成額：3万円上限）、放課後児童クラブ（助成額：3万円上限）、世代間交流（助成額：3万円上限）、親子料理教室（助成額：3万円上限）として、各地域活動団体の取り組みを当財団が伴走しながらサポートします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 12 | 特定非営利活動法人UgrandmaJapan | 愛媛県宇和島 | 食を通じた居場所で多世代が活躍できるコミュニティ                                    | <p>食から職へ、自分が役に立ち、大切にされる居場所を作る。①子ども食堂や、フードバントリー、見守りをしている中で、「ありがとう」と同時に「すみません」の聲が聞こえる。食べ物をもらっているばかりで申し訳ないという気持ち。そこで今度お手伝いをお願いし、②お手伝いチケットを発行。子ども食堂に関するお手伝いをしてもらい、そのチケットで自分の好きな食品と交換できる仕組みを作る。子どもにも（だからこそ）できること、絵を描いてもらったり、年下の子の面倒をみてもらったり、高齢者は遊んでいる子どもの見守りや、話し相手になってもらうだけで助かる、と自己肯定感に気づく。</p> <p>好きなもの、食べたものに気づき、食の共通話題で自分と相手の居場所となるコミュニティチケット。子どもはお手伝いをするこの楽しさを覚え、家庭でもお手伝いをするように。慣れてきたら配膳や、栄養、調理の勉強でスキルアップし、③子ども食堂のボランティアへ、宇和島市内には15ヶ所の子ども食堂がある。自分の地域でお手伝いに慣れ、地域に馴染んでいく。公民館などで運営されており、行政にも近づく。宇和島は水産業が盛んで、グランマ構成メンバーは食品加工業。例えば調理に慣れたら④スタッフとしても本格的に職業研修なども可能。食の楽しさが職にもつながるモデルを作り、食だけではない自分の好きなものに気づききっかけを広げる。災害時の調理スキルは食材をあたにかい食事へと変える。緊急時に生き延びる元氣と、食事を囲むコミュニティ防災ができる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

第2次公募 申請団体一覧

|         |                       |                     |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------|-----------------------|---------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2022年度通 |                       | 多世代が食でつながるコミュニティづくり |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 資金分配団体  |                       | 一般社団法人全国食支援活動協力会    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| No      | 申請団体名                 | 本拠地                 | 事業名称                   | 事業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 1       | 社会福祉法人青森県社会福祉協議会      | 青森県青森市              | 多様なパートナーシップで食支援を広げる事業  | 青森県内の町村部を中心として、その自治体内や近隣エリアにおいて、食を通じた居場所などを行う活動者と、行政や社会福祉協議会、協力する企業や団体の有機的な連携と協働を進める事業。<br>①市町村域内で、活動者と行政や社会福祉協議会、協力企業をつなぐための相談支援活動<br>②市町村域内で、活動者と行政や社会福祉協議会、協力企業の出会いの場や情報共有を行う会議や研修会の開催<br>③市町村域内で、新たな活動や協力を得るための周知活動や研修会の開催<br>④市町村域内で、活動者、行政、社会福祉協議会、協力企業が協働して行う食支援活動や周知イベントの開催<br>⑤市町村域又は近隣エリアで、関係者が協働して運営する食支援や食品の備蓄保管を行う活動拠点の整備の支援<br>⑥上記の活動を周知、広げるための県域での周知イベントや研修会の開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2       | 特定非営利活動法人子どもの育ちを応援する会 | 栃木県那須塩原市            | 地域の縁で食と職をつなげるサードプレイス事業 | 私たちの法人には、困窮家庭、DVから逃げてきた母子、発達障がいのあるうまく人と溶け込むことができず孤立し仕事うまくいかない社会的養護の母親とその子ども、新型コロナの拡大により地域のイベントが瞬く間に中止となり近隣からの孤独感を感じる高齢者、厳しい環境を誰にも救われず何とか生き延びたけれど実家や頼れる家族がいないケアリーバー等様々な環境の方が訪れ相談や支援を行っています。その中で「食べられたらなんでもいいけど美味しいものだったらうれしいです」「贅沢をいってもいいんですか?」「一人だと味がしないから食欲が・・・」と食に対してネガティブに感じ食べることへの意欲を得られていない家庭が多いです。<br>空き家を使って居場所づくりに翻弄しているケアリーバーの青年と出会いました。彼は毎日何かに悩みもがいています。そんな彼と自助グループのダイナミクスを利用し、総菜製造許可を得られるような改築を行い（進行中）自分たちの集う居場所を作り上げながら、達成感を持たせることで自己有用感の構築を行います。<br>空き家の改築後は総菜メニュー開発をし、目の前の高校でアウトリーチを目的とした移動販売と事業運営のために市役所での販売（内諾済み）を行い、居場所の運営をしながら自己資金での活動を軌道に乗せ、持続性と達成感を安定化させていく事を目標としていきます。<br>総菜メニューは主におにぎりや、郷土料理「巻狩鍋」、近隣の高齢者の作るお惣菜を具として取り入れたおやき等にする事で、味もわかりやすく、食にネガティブであっても栄養、味覚、食べる幸せを作ることで、活力につなげていくことを目的とします。<br>また、郷土料理を使用することで近隣の孤立した高齢者へのアクション、自治会等とも協働での活動も視野に入れ、今後各種イベントに出店できるよう体制を整え、地域と食を通して円滑なコミュニティづくりを目指します。 |